

他市町村における水道料金と下水道使用料の比較について

市町村別に水道料金と下水道使用料を水量別で比べ、どちらの料金のほうが高いのかについて可能な限り調査した。

水道料金に関しては、ほとんどの市町村において口径により料金が異なるため、水量 10 m³であれば口径 13mm、水量 100 m³であれば口径 40mm というように推定した。

また、対象市町村は県内の公共下水道を有する市町村(青森市のみ青森地区、浪岡地区を別とした合計 29 市町村)、東北主要都市(6 市)の合計 35 市町村とした。

調査の結果、水道料金と下水道使用料を比べた場合、以下の分類に分けることができた。

①常に水道料金が高い・・・19市町村

盛岡市、八戸市、五所川原市、平川市、つがる市、黒石市、むつ市、板柳町、鶴田町、六ヶ所村、外ヶ浜町、鯉ヶ沢町、七戸町、六戸町、おいらせ町、三戸町、五戸町、南部町、階上町

②常に下水道使用料が高い・・・1市

青森市(青森地区)のみ

③初めは水道料金が高いが途中から下水道使用料が高くなる・・・12市町村

青森市(浪岡地区)、仙台市、福島市、いわき市、郡山市、山形市、弘前市、大鰐町、藤崎町、田舎館村、平内町、東北町

④初めは下水道使用料が高いが途中から水道料金が高くなる

該当市町村なし

⑤その他・・・3市

秋田市、三沢市、十和田市

※ この3市は水道料金・下水道使用料それぞれの従量使用料の設定により、上記のような一貫した傾向がないものの、使用水量が非常に多くなると、最終的には下水道使用料が高くなるため、③に近い分類といえる。

青森市(青森地区)は②に分類されるが、これは水道料金が非常に安く(10 m³では三沢市に次いで2番目に安い)、少ない使用水量においても下水道使用料が高くなっているためであり、実質的には、③に近い分類といえる。